


武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	巡回相談員配置事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育指導 課	教育支援 係	内線 442
	根拠法令等	武蔵村山市特別支援教育巡回相談員設置要綱			
目的	市立学校に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童・生徒に対しての行動観察を行い、専門的な見地から助言又は援助を行うことで、個に応じた支援を行うとともに、市立学校の特別支援教育を推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	学識経験者、臨床心理士、特別支援教育コーディネーター、就学相談員等で構成され、市立学校への巡回相談を実施し、教員などに対して、特別な教育的支援が必要な児童・生徒の指導内容や方法及び個々に応じた支援体制の在り方等について、適切な助言を行う。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	巡回数	回	目標	40	40	40
								実績	16	13
								達成率	40%	33%
2	-	-	目標	-	-	-				
				実績	-	-				
				達成率	-	-				

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		95	119	284	
財源内訳	一般財源	95	119	284	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	399	383	385	
	所要人員(人)	0.05	0.05	0.05	
	会計年度任用職員(千円)	14	15	15	
	所要人員(人)	0.01	0.01	0.01	
合計(事業費+人件費)		508	517	684	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある		
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
		有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
			受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
			施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	
		効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
			事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
			類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度の巡回相談回数は13回である。巡回相談を実施した児童・生徒等については、特別支援教育専門委員会において報告し、指導上の留意点などについての意見交換を通じ、指導内容の充実を図っている。	近年、本市でも特別支援学級及び特別支援教室に通室する児童・生徒が増加傾向にあり、今後もその状況は続くと思われる。 巡回相談員制度は、教育上特別な支援を必要とする児童・生徒の教育環境の確保に向けて有効な制度である。 巡回相談の実施に当たっては、専門的知識のある学識経験者、臨床心理士等の確保が必要となる。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
引き続き、巡回相談員を派遣することで、児童・生徒一人一人に応じた支援を行うとともに、市立学校の特別支援教育を推進する。 なお、令和6年度から学校派遣依頼に基づく派遣のほか、教育委員会が学校を選定し派遣を行い、特別支援教育の充実を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	適応指導教室機能強化事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育 部	教育指導 課	教育支援 係 内線 442
	根拠法令等	武蔵村山市適応指導教室機能強化補助事業実施要項		
	目的	適応指導教室の機能強化に向けた方策の確立を図るとともに、適応指導教室に通室していない児童・生徒に対しても、学習・登校支援員による家庭訪問を実施することにより、通室や登校ができるよう、状況に応じた環境を整備する。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	学習支援員、登校支援員による家庭等の訪問を行い、不登校児童・生徒の社会的自立に向け、一人一人の状況に応じた学習指導及び進路指導等生活相談を実施する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	家庭等訪問実施回数（延べ）	回
			実績	145	194	
			達成率	101%	135%	
2	適応指導教室に通う児童・生徒及び自宅に引きこもる児童・生徒の高校等進学率	率	目標	100	100	100
			実績	100	90	
			達成率	100%	90%	


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		844	791	2,547	
財源内訳	一般財源	422	396	1,297	
	国都支出金	422	395	1,250	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	958	918	924	
	所要人員（人）	0.12	0.12	0.12	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		1,802	1,709	3,471	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
率性	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度の家等訪問実施回数は延べ194回である。年度末に不登校等支援対策連絡協議会において、事業の評価及び検証を実施した。	近年、本市においても不登校児童・生徒が増加傾向にあり、今後も状況は継続すると思われる。機能強化補助事業の実施に当たっては、教員免許保持者及び子どもの臨床心理に係る経験者の確保が必要となる。

今後の方針																			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 引き続き、家庭等に学習・登校支援員を派遣することで、児童・生徒や保護者の悩み等にきめ細かく対応し、児童・生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的自立を目指すことができるよう支援する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下			
今後の方針		コスト																	
成果	向上	削減	維持	増加															
	維持		○																
	低下																		

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	ICT教育支援員派遣事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育政策 係	内線 423
	根拠法令等	学校教育の情報化の推進に関する法律 学校教育情報推進計画			
	目的	GIGAスクール構想を推進する中でICT教育の推進は必要不可欠であると考えられる。ICT教育支援員の派遣を行うことにより教員のICT活用指導力の向上に資することを目的とする。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	市内各小・中学校へICT教育支援員を派遣し、及び各校の教員に対しICT教育の進め方等について指導・助言を行うことによりGIGAスクール構想の一環としてICT教育推進のための支援を行う。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	ICT教育支援員が実施した研修に参加した教員の人数	人
			実績	264	206	
			達成率	100%	71%	
2	ICT教育支援員が授業支援を実施した回数	回	目標	784	940	1,075
			実績	761	846	
			達成率	97%	90%	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		24,352	22,361	28,600	
財源内訳	一般財源	6,089	5,591	15,327	
	国都支出金	18,263	16,770	13,273	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	10,050	9,629	9,692	
	所要人員(人)	1.26	1.26	1.26	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		34,402	31,990	38,292	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
市内各小・中学校に月4回ICT教育支援員を派遣し、教員に対してICT教育の進め方等の指導・助言を行った。基礎的な知識を基に共同編集機能を活用して、児童・生徒の考えを深めていく活用の支援を実施した。	令和4年度までは授業でICT機器を活用するための基礎知識の形成や、基礎的な知識を基にした活用の支援を行っていたが、今後の実施に当たっては、より充実したオンライン学習の推進やデジタル教科書の導入など、より高度で発展的な活用を行えるよう、これまでのICT教育支援員の活用方法の見直しを図る必要がある。


今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
ICT教育支援員の派遣については、今後ICT教育を進める上で大きな役割を担っていることから、継続的に教員等に対して支援を行う必要がある。																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>				今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						

外部評価調書（事務事業）

事務事業名		ICT教育支援員派遣事業	
所管部署		教育部 教育総務課 教育政策係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・市民との協働により事業を実施しているか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・受益者負担は適切か</li> <li>・施策への貢献度は適切か</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間委託等は可能か</li> <li>・事業費の更なる削減は可能か</li> <li>・類似事業等との統合は可能か</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
総合評価	<p>本事業は、市内各小・中学校にICT教育支援員を派遣し、及び各校の教員に対しICT教育に係る指導・助言等を行うことにより、教員のICT活用指導力の向上を図るものであり、GIGAスクール構想に沿ったICT教育を推進する上で意義が認められる。また、支援員による教員への研修等の実施により、授業における日常的なICTの活用に向けた端末の設定方法などの基礎知識の習得に寄与していることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>他方、ICT教育を充実させていくためには、教員各自の自発的で継続的な創意工夫が求められており、支援内容を、これまで行われてきた基礎的な知識や技術の習得から、より発展的なニーズに応じたものに変えていく必要がある。その際、既存の教育や業務で多忙な状況により新しいことに創意をもって取り組む意欲を阻害することや、教員のモチベーションの違いによりICT活用の格差が広がることが懸念される。</p> <p>よって、今後は、教員のモチベーションの違いや個別教育ニーズに対応した支援、さらには、働き方改革に結び付く支援に重点を移し、教員のICT活用指導力が更に向上することを期待したい。</p> <p>また、ICT活用は、個別学習の充実、探究的な学び、協働学習、オンライン学習、プログラミング教育など多岐にわたるため、教育目的ごとにどのような成果があったのかを明確にすることを求めたい。</p>		



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	英語検定事業				
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育				
	所管部署	教育 部	教育指導 課	指導 係	内線	434
	根拠法令等	—				
	目的	学力の向上を図り、高等学校の受験に役立てること等を目的に英語検定の技能試験を取り入れることにより、生徒が目標をもって努力する態度を身に付けられるようにするとともに、学力の向上及び高校受験対策を図る。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	中学校第3学年生徒の希望者を対象に英語検定を実施する。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	英語検定の受検率	%	目標	60.0	60.0	60.0
								実績	37.9	31.3
								達成率	63%	52%
2	—	—	目標	—	—	—				
				実績	—	—				
				達成率	—	—				

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		1,254	1,087	1,976
財源内訳	一般財源	1,254	1,087	1,976
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	240	230	231
	所要人員（人）	0.03	0.03	0.03
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		1,494	1,317	2,207

市民・議会等から寄せられた意見	
令和3年3月予算特別委員会において、「なぜ希望制にしたのか、複数回受験できるようにしないのか」という意見があった。	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効果性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
受検者数 235人 合格者数 114人 合格率 48.5%  ●級別の受検者数、合格者数及び合格率 （受検者数）（合格者数）（合格率） 2級： 6人 2人 33.3% 準2級： 69人 23人 33.3% 3級： 145人 78人 53.8% 4級： 12人 9人 75.0% 5級： 3人 2人 66.7%	受検率及び合格率を向上させるため、周知強化の徹底等の対策を図っていく必要がある。

今後の方針																			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本事業は平成29年度までは中学校第3学年生徒全員を対象としていたが、平成30年度より中学校第3学年生徒のうち希望者のみを対象として実施してきた。本市の合格率は、平成30年度の33.1%から令和3年度までにかけて毎年上昇してきたが、令和4年度は令和3年度並みの48.5%となった。また、準2級、2級の受検者数も増加しており、令和4年度は75人であった。中学校第3学年の英語の学習内容が英語検定3級と同程度であることから、このことは、生徒の意欲の表れであるとともに、長年本市で継続させてきた外国語指導に関する各種事業の成果であると捉えている。生徒が自主的に自分なりの目標を立て、全国的な検定試験に挑戦できる機会を継続して創出し、周知強化の徹底により目標とする受検率60%の達成を目指す。今後もより高い目標を目指して努力する生徒を応援する事業として英語検定事業を継続させたいと考える。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下			
今後の方針		コスト																	
成果	向上	削減	維持	増加															
	維持		○																
	低下																		

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	補助教員派遣事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育 部	教育指導 課	指導 係 内線 434
	根拠法令等	—		
目的	特色ある学校づくりを推進するとともに、児童一人一人に目の行き届いた教育を実現し、地域で学校を支える体制づくりを実現する。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	市内全小学校（9校）に教員免許を有する補助教員を派遣し、教育内容の充実を図るものであり、各校に1名ずつ配置する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	補助教員の配置校数	校	目標	9	9	9
							実績	9	9	
達成率	100%	100%								
2	—	—	目標	—	—	—				
			実績	—	—					
			達成率	—	—					

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		8,403	7,775	8,540
財源内訳	一般財源	8,403	7,775	8,540
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	77	77
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		8,483	7,852	8,617


市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
配置人数 9人 報酬 7,775,023円 補助教員を配置し学級担任の学習指導の補助を行うことにより、個に応じた指導の充実を図ることができた。また、生活指導面においても、担任と連携し児童への理解を深めることに貢献した。	補助教員の確保に当たっては、教員免許の保有を条件としているため、地域から人材を発掘する必要がある。教育への関心を高め人材確保につなげるため、学校の教育内容を継続的に地域に発信し、周知を図っていく。

今後の方針																							
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 引き続き、全小学校に補助教員を配置し、各校の特色ある学校づくりを推進するとともに、児童一人一人に目の行き届いた教育を推進していく。																							
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針			コスト				削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
	今後の方針																						
	コスト																						
	削減	維持	増加																				
向上																							
維持		○																					
低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	学校司書配置事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育 部	教育指導 課	指導 係 内線 434
	根拠法令等	学校図書館法		
	目的	市立学校における読書活動を推進し、児童・生徒の健全な育成に資するとともに、子供たちの成長のため、よりよい読書環境を整備する。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	市内全小・中学校に、学校司書を配置する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	児童・生徒一人当たり貸出冊数	冊
			実績	38.19	32.24	
			達成率	95%	81%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		14,452	14,392	14,359		学校、議会等から学校司書の予算について、1日6時間、週4日分を確保するよう要望があった。
財源内訳	一般財源	3,885	14,392	14,359		
	国都支出金	10,567	0	0		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	80	77	77		
	所要人員(人)	0.01	0.01	0.01		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		14,532	14,469	14,436		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性 <td rowspan="2">市民との協働により事業を実施しているか</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適合している</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当</td>	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性 <td>廃止・休止した場合の市民への影響</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい</td> <td><input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当</td>	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性 <td>民間委託等は可能か</td> <td><input type="checkbox"/> 困難である</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当</td>	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
配置人数 14人 報酬 14,392,634円	学校司書が専門知識を十分に発揮して活躍できるよう組織・体制づくりを検討するとともに、各校の学校司書が連携し、自らのスキルアップを図る必要がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 学校、議会、市民等からの強い要望もあり、特に学校側から学校司書に期待する役割は大きいことから、読書環境等の整備のため引き続き本事業の充実を図っていく必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	地域未来塾事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	文化振興 課	生涯学習 係	内線 652
	根拠法令等	武蔵村山市地域未来塾実施要綱			
目的	経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難である等、学習習慣が十分に身につけていない児童・生徒を対象に、地域住民等の協力を得て学習支援を実施し、学習習慣の確立や基礎学力の定着等を図る。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	放課後や夏休み等、通常授業でない時間帯に学校の空き教室を利用して実施している。実施に当たっては、各学校に登録している学習支援員が知識や経験をいかし、学習支援に従事する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	地域未来塾の実施校数	—
			実績	11	14	
			達成率	79%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		3,644	4,312	9,003		実施校からは、「生徒の学ぶ意欲が高まった」、「参加児童の学力向上が見られた」等の声がある。
財源内訳	一般財源	1,216	1,438	2,969		
	国都支出金	2,428	2,874	6,034		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,393	2,293	2,308		
	所要人員(人)	0.30	0.30	0.30		
	会計年度任用職員(千円)	41	43	43		
	所要人員(人)	0.03	0.03	0.03		
合計(事業費+人件費)		6,078	6,648	11,354		


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
市内の全小・中学校での地域未来塾事業を実施した。	学習支援員の確保が難しいという学校があり、放課後子供教室と同様、人材の確保が課題となっている。 また、実施内容は各学校の主体性に任せているため、学校間で実施回数や実施時間、対象学年などに大きな差がある。このため、各学校における取組について情報共有を図っており、今後はそれも参考にしながらより効果的な実施方法を研究、検討するよう促していく。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
本事業の実施に当たっては、学習支援員の人材確保が一番の課題であることから、文化振興課を窓口とした人材の確保、学校間の人材を共有する等の方法により、各学校において学習支援員の確保が図れるよう、事業の実施を推進していく。																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>				今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	民間プール試行利用事業					
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育					
	所管部署	教育 部	教育指導 課	指導 係	内線	434	
	根拠法令等	—					
	目的	体育授業において、水泳・プールの決まりや水泳の心得を守り、安全面を含めた子どもたちの体力の向上を目的として、派遣委託したインストラクターが民間プールにおいて水泳の指導を実施する。				SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	小・中学校の体育授業（水泳指導）において、民間プールでの試行利用を行う。						

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	民間プール試行利用の実施	—
			実績	—	実施	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 試行利用した学校へのアンケート調査の結果では「丁寧に教えてくれる。」とインストラクターの指導に対する評価は高かった。一方、教員からは「プールまでの引率が大変であった。」との感想が多かった。
事業費（千円）		0	9,108	0	
財源内訳	一般財源	-	9,108	-	
	国都支出金	-	0	-	
	その他	-	0	-	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	4,968	0	
	所要人員（人）	0.00	0.65	0.00	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		0	14,076	0	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input checked="" type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度は、2校が以下の2か所の民間プールにて試行利用を実施した。 ●村山いずみ幼稚園（二小） ●スポーツイントライ（七小）  委託料（水泳インストラクター派遣業務委託） 8,191,040円 借上料（プール借上料） 917,400円	民間プールの利用に当たり、対象施設まで随行する職員の確保や、民間プールにおける児童の安全確保が課題である。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本事業は、民間プールを活用して児童・生徒に水泳指導を行うものであり、将来的な学校プールの在り方について、児童・生徒への技能面の指導や、施設の維持管理等の観点から検証を行った。 インストラクターの指導に対しては高い評価を得ていたが、対象施設までの引率時等の課題が明らかになったことや費用対効果を考慮した結果、令和5年度以降の実施は難しいと判断した。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

（廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	部活動支援事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育 部	教育指導 課	指導 係 内線 434
	根拠法令等	学校教育法施行規則		
	目的	【部活動外部支援員】少子化に伴う教員数の減少や専門的な指導を行うことができる運動・部活動等の指導者不足を補い、体育・運動部活動における外部指導者の充実を図る。 【部活動指導員】教員の部活動に係る時間を軽減することを目的とする。	SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	【部活動外部支援員】中学校の部活動顧問教諭等と連携・協力しながら部活動のコーチ等として技術的な指導を行う。 【部活動指導員】平日に加え、週休日や長期休業中に配置することが可能となり、対外試合の引率についても可能となる。			



評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	部活動外部支援員及び部活動指導員の配置校数	校
			実績	5	5	
			達成率	100%	100%	
2			目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		8,890	9,476	11,879	
財源内訳	一般財源	7,322	4,033	10,215	
	国都支出金	1,568	5,443	1,664	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,277	1,223	1,231	
	所要人員(人)	0.16	0.16	0.16	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		10,167	10,699	13,110	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性 <td rowspan="2">市民との協働により事業を実施しているか</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適合している</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当</td>	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性 <td>廃止・休止した場合の市民への影響</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい</td> <td><input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当</td>	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果率 <td>民間委託等は可能か</td> <td><input type="checkbox"/> 困難である</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当</td>	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●部活動外部支援員 支援員数 44人 謝礼 7,101,250円</li> <li>●部活動指導員 配置人数 5人 報酬 2,375,120円</li> </ul>	技能面の指導、大会等への引率を任せることができる人材を地域から発掘しなければならない。

今後の方針																			
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																		
引き続き、部活動外部支援員及び部活動指導員を配置することにより、生徒に対して技術的な向上を図るとともに、教員の部活動指導に係る負担軽減を図っていく。また、今後の部活動の地域移行の取組に併せ、指導員の拡充等、人材を確保していくことが必要と考えられる。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下			
今後の方針		コスト																	
成果	向上	削減	維持	増加															
	維持		○																
	低下																		

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	オンライン学習推進事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育政策 係	内線 423
	根拠法令等	学校教育の情報化の推進に関する法律			
	目的	新型コロナウイルス感染症による学校の臨時休業や個別の理由により登校できない児童・生徒に対し、タブレット端末を使用したオンライン学習の支援を行うことを目的とする。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	GIGAスクール構想の実現に向けて整備したタブレット端末をオンライン学習に活用するため、Wi-Fi環境のない家庭に対しモバイルルーターの貸出しを行う。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	Wi-Fi環境のない家庭に対するモバイルルーター貸出件数	件	目標	116	128	140
				実績	38	48	
				達成率	33%	38%	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		4,736	6,935	2,313	
財源内訳	一般財源	0	0	0	
	国都支出金	4,736	6,935	2,313	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	10,050	9,629	9,692	
	所要人員（人）	1.26	1.26	1.26	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		14,786	16,564	12,005	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	施策への貢献度は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input checked="" type="checkbox"/> 不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
タブレット端末の活用にあたり、Wi-Fi環境の整っていない家庭に対し、モバイルルーターの貸出を実施した。	GIGAスクール構想の実現に向けて全児童・生徒に整備した一人一台のタブレット端末について、宿題や夏休み期間の自由研究等に活用するなど、タブレット端末の持ち帰り学習の充実が必要である。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
本事業は、令和5年7月末をもって終了する。 今後は、就学援助費の新たな支援としてオンライン学習通信費を支給し、家庭におけるオンライン学習環境の整備を図ることにより、児童・生徒の快適な教育環境の提供に資することとする。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							

(廃止・休止・終了の場合は「〇」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	消火設備改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 	
内容	消火栓設備の老朽化した地中埋設管を撤去し、露出配管に改修することにより、火災時の安全性及びメンテナンス性の向上を図る。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	事業完了学校数	校	目標	—	1	—
							実績	—	1	
達成率	—	100%								
2	—	—	目標	—	—					
			実績	—	—					
			達成率	—	—					

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	11,539	17,600	
財源内訳	一般財源	-	304	3,843	
	国都支出金	-	5,735	8,857	
	その他	-	5,500	4,900	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	956	962	
	所要人員（人）	0.00	0.13	0.13	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		0	12,495	18,562	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
第二小学校消火栓設備配管等改修工事 11,539,000円	消火栓設備については、校舎建設時から配管改修が行われていないため、火災時に備えて速やかな改修が必要である。

所管課の評価	今後の方針																								
	【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
	校舎建設以降に漏水が発生した学校施設の配管については改修工事が完了し、緊急性が低下したため事業内容の縮小又は見直しを行う。																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>						今後の方針			コスト			成果	向上				維持				低下	○		
			今後の方針																						
コスト																									
成果	向上																								
	維持																								
	低下	○																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																									



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	消防設備器具改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
	目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	老朽化した消防設備（自動火災報知設備、避難器具、防火設備、誘導灯等）を改修することにより、火災発生時の安全性を確保する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	事業完了学校数	校
			実績	10	7	
			達成率	100%	88%	
2	—	—	目標	—	—	
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—		
事業費（千円）	3,402	5,874	3,285			
財源内訳						
一般財源	1,702	5,874	3,285			
国都支出金	1,700	0	0			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	3,669	3,821	1,600			
所要人員（人）	0.46	0.50	0.21			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	7,071	9,695	4,885			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●第二小学校消防設備器具改修工事 455,400円</li> <li>●第三小学校消防設備器具改修工事 797,500円</li> <li>●第九小学校消防設備器具改修工事 396,000円</li> <li>●第三中学校消防設備器具改修工事 331,100円</li> <li>●村山学園第四小学救助袋更新工事 955,900円</li> <li>●大南学園第七小学救助袋更新工事 1,838,100円</li> <li>●大南学園第四中学救助袋更新工事 1,100,000円</li> </ul>	本事業では、消火設備全体ではなく部分改修を実施しているが、設備の老朽化が進んでいるため、学校によっては全体の改修が必要である。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
令和5年度は、令和4年度からの繰越しである第五中学校消防設備器具改修工事を行う。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下			
		今後の方針																						
		コスト																						
成果	向上	削減	維持	増加																				
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	校舎屋上防水改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 	
内容	老朽化した校舎屋上の防水改修及びフェンスの改修をすることにより、校舎の健全性を確保する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	事業完了学校数	校
			実績	1	2	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
事業費（千円）	29,964	24,691	39,813	—		
財源内訳						
一般財源	448	15,084	1,929			
国都支出金	29,516	9,607	8,084			
その他	0	0	29,800			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	997	1,911	962			
所要人員（人）	0.13	0.25	0.13			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	30,961	26,602	40,775			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
●第三小学校校舎屋上防水改修工事 13,200,000円 ●第五中学校校舎屋上防水改修工事（第二期工事）11,491,000円 ※五中の財源内訳は、校舎窓枠等建具改修工事と案分している。	防水層が劣化し、雨漏りが発生すると躯体に悪影響を及ぼす恐れがあるため、予防保全が必要である。

今後の方針																										
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																										
令和5年度は、第十小学校屋上防水改修工事（第一期工事）を行う。																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持			○		低下				
		今後の方針																								
		コスト																								
成果	向上	削減	維持	増加																						
	維持			○																						
	低下																									
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																										

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	校舎窓枠等建具改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
	目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	老朽化した校舎外部の窓や扉を改修することにより、窓の開閉を容易にし、気密性も向上させ、教育環境を改善する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	事業完了学校数	校	目標	1	1	1
							実績	1	1	
達成率	100%	100%								
2	—	—	目標	—	—					
			実績	—	—					
			達成率	—	—					


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—			
事業費(千円)	151,019	111,396	271,498				
財源内訳	一般財源	2,259	28,601				82,304
	国都支出金	148,760	82,795				49,294
	その他	0	0				139,900
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,991	3,722				3,746
	所要人員(人)	0.38	0.49				0.49
	会計年度任用職員(千円)	0	0				0
	所要人員(人)	0.00	0.00				0.00
合計(事業費+人件費)							154,010

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●第三小学校費東校舎窓枠等建具改修工事に伴う実施設計委託 3,377,000円</li> <li>●第五中学校校舎窓枠等建具及び外壁改修工事(第二期工事) 96,639,000円</li> <li>●第五中学校校舎窓枠等建具・外壁及び防水改修工事(第二期工事)に伴う工事監理委託 6,649,500円</li> <li>●第五中学校外壁下地調整等工事(第二期工事) 4,730,000円</li> </ul> ※五中の財源内訳は、校舎屋上防水改修工事と案分している。	窓サッシ等の撤去工事であり、学校運営に支障が少ない夏期休業期間の工事となることから、工期の調整が必要である。 校舎全体に仮設足場を設置し、養生シート張り工事を行うため、工事中は窓の開閉ができない状態となる。また、工事に伴い、資材置場、工事車両の駐車場等の仮設が必要となるため、校庭等に使用制限がかかる。

今後の方針																										
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和5年度は、以下の校舎について実施設計及び改修を行う。																										
<ul style="list-style-type: none"> <li>●第二小学校窓枠等建具及び外装改修工事に伴う実施設計委託</li> <li>●第十小学校窓枠等建具及び外装改修工事(第一期工事)</li> <li>●第十小学校窓枠等建具及び外装改修工事(第一期工事)に伴う工事監理委託</li> <li>●第十小学校校舎外壁下地調整等工事</li> </ul>																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			今後の方針				成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
今後の方針																										
成果	コスト																									
	削減	維持	増加																							
向上																										
維持		○																								
低下																										
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																										

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	電話設備改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
	目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	電話設備を更新する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	事業の検討	—
			実績	—	—	—
			達成率	—	—	—
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
			達成率	—	—	—

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費(千円)	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—		
財源内訳						
一般財源	0	0	0			
国都支出金	—	—	—			
その他	—	—	—			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
会計年度任用職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
合計(事業費+人件費)	0	0	0			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当


令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
実施計画には「検討」として位置付けられているため事業の実績なし。	現在の電話機が故障しても、廃番のため修繕が困難である。

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
検討の結果、工事ではなくリースにより対応することとなった。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持			
低下			

(廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要)



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	校舎内部改修事業（トイレ改修）			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
	目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	校舎トイレの内装、便器、給排水配管、換気設備及び照明器具等の全面改修をすることにより、トイレ環境の改善を図る。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	事業完了学校数	校
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		61,820	18,606	10,267	
財源内訳	一般財源	633	17,063	10,267	
	国都支出金	39,587	1,543	0	
	その他	21,600	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,596	2,736	1,277	
	所要人員（人）	0.20	0.36	0.17	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		63,416	21,342	11,544	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●第二小学校トイレ改修工事に伴う実施設計委託 2,504,700円</li> <li>●第三小学校トイレ改修工事に伴う実施設計委託 2,578,400円</li> <li>●雷塚小学校トイレ改修工事に伴う実施設計委託 2,082,300円</li> <li>●第九小学校トイレ改修工事 10,087,000円</li> <li>●第九小学校トイレ改修工事に伴う工事監理委託 1,353,000円</li> </ul>	工事中はトイレの使用制限がかかる。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 令和5年度は、以下の実施設計を行う。 ●大南公園第七小学校校舎トイレ改修工事に伴う実施設計委託 ●第一中学校校舎トイレ改修工事に伴う実施設計委託	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	校舎外装改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
	目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	老朽化した校舎の外壁を改修することにより、校舎の健全性を確保する。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	事業完了学校数	校	目標	—	1	1
				実績	—	1	
達成率				—	100%		
2	—	—	目標	—	—		
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		3,123	52,800	51,572	
財源内訳	一般財源	187	6,380	14,786	
	国都支出金	2,936	46,420	8,586	
	その他	0	0	28,200	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,662	3,179	6,085	
	所要人員(人)	0.21	0.42	0.79	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		4,785	55,979	57,657	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●大南学園第七小学校校舎外装改修工事 46,420,000円</li> <li>●第二小学校校舎外装改修工事に伴う実施設計委託 1,485,000円</li> <li>●大南学園第七小学校外壁下地調整等工事 4,895,000円</li> </ul>	校舎全体に仮設足場を設置し、養生シートを張って施工するため、工事期間中は窓の開閉が不可能となる。また、工事に伴い、資材置場、工事車両の駐車場の仮設が必要となるため、校庭等に使用制限がかかる。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
令和5年度は、以下の実施設計及び改修を行う。																						
<ul style="list-style-type: none"> <li>●第一小学校校舎外装改修工事に伴う実施設計委託</li> <li>●村山学園第四小学校校舎外装改修工事に伴う実施設計委託</li> <li>●雷塚小学校校舎外装改修工事に伴う実施設計委託</li> <li>●村山学園第二中学校校舎該当改修工事に伴う実施設計委託</li> <li>●第三小学校校舎外装改修工事</li> <li>●第三小学校校舎外壁下地調整等工事</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	小荷物運搬昇降機取替事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
	目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	老朽化した給食用の小荷物専用昇降機を改修することにより、給食の配膳に支障が出ないようにする。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	事業完了学校数	校	目標	1	1	1
								実績	1	1
達成率	100%	100%								
2	—	—	目標	—	—	—				
				実績	—	—				
				達成率	—	—				

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		2,145	2,365	3,000
財源内訳	一般財源	245	2,365	3,000
	国都支出金	1,900	0	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	997	2,224	2,239
	所要人員（人）	0.13	0.29	0.29
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		3,142	4,589	5,239


市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
大南学園第七小学校小荷物専用昇降機改修工事 2,365,000円	学校運営に支障が出ないように、学校給食を実施しない夏期休業期間に工事を実施する。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
令和5年度は、第八小学校小荷物専用昇降機改修工事を行う。																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>				今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	放送設備改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
	目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	老朽化した非常用を含めた放送設備一式を改修し、教育環境の改善と災害時の避難誘導等の安全確保を図る。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	事業完了学校数	校	目標	1	1	2
							実績	1	1	
達成率	100%	100%								
2	—	—	目標	—	—					
			実績	—	—					
			達成率	—	—					

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		19,422	13,090	64,515	
財源内訳	一般財源	922	2,497	11,515	
	国都支出金	18,500	10,593	19,000	
	その他	0	0	34,000	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	3,689	1,529	1,539	
	所要人員(人)	0.46	0.20	0.20	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		23,111	14,619	66,054	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第八小学校放送設備改修工事 11,770,000円</li> <li>● 第八小学校放送設備改修工事に伴う工事監理委託 1,320,000円</li> </ul>	設備が十数年経過すると、故障時に部材が生産終了していることが多く、修繕が困難であるため、計画的な改修が必要となる。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
令和5年度は、以下の改修を行う。																						
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 村山学園第四小学校放送設備工事</li> <li>● 村山学園第四小学校放送設備工事に伴う工事監理委託</li> <li>● 村山学園第二中学校放送設備工事</li> <li>● 村山学園第二中学校放送設備工事に伴う工事監理委託</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	屋内運動場照明器具LED化事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
	目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	屋内運動場の老朽化した水銀灯をLED照明へ改修することにより、屋内運動場の健全性を確保し、及び教育環境を改善する。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	事業完了学校数	校	目標	—	—	4
				実績	—	—	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—		
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	0	22,830	
財源内訳	一般財源	-	-	1,195	
	国都支出金	-	-	7,835	
	その他	-	-	13,800	
会計年度任用職員以外の職員（千円）		0	0	2,562	
人件費	所要人員（人）	0.00	0.00	0.33	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		0	0	25,392	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
実施計画には令和4年度「検討」として位置付けられているため事業の実績なし。	屋内運動場で使用している水銀灯は、令和3年以降生産が禁止され、生産が順次終了しているため計画的なLED化への改修が必要となる。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和5年度は、以下の改修を行う。																								
●第一小学校屋内運動場照明器具LED化工事																								
●第二小学校屋内運動場照明器具LED化工事																								
●第三小学校屋内運動場照明器具LED化工事																								
●大南学園第七小学校屋内運動場照明器具LED化工事																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	屋内運動場トイレ改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
	目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	屋内運動場の老朽化したトイレの全面改修を行い、屋内運動場トイレ環境の改善を図る。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	事業の推進	—	目標	—	実施設計	実施設計
				実績	—	実施設計	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—		
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		0	1,250	6,935	
財源内訳	一般財源	-	1,250	6,935	
	国都支出金	-	0	0	
	その他	-	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	1,269	1,923	
人件費	所要人員(人)	0.00	0.17	0.25	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		0	2,519	8,858	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●第一小学校屋内運動場トイレ改修工事に伴う実施設計委託 696,300円</li> <li>●第三小学校屋内運動場トイレ改修工事に伴う実施設計委託 553,300円</li> </ul>	工事中はトイレの使用制限がかかる。

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
令和5年度は、以下の実施設計を行う			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●大南学園第七小学校屋内運動場トイレ改修工事に伴う実施設計委託</li> <li>●第八小学校屋内運動場トイレ改修工事に伴う実施設計委託</li> <li>●雷塚小学校屋内運動場トイレ改修工事に伴う実施設計委託</li> </ul>			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	屋内運動場床面改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 	
内容	屋内運動場の老朽化した床の撤去、新設又は塗装改修を行い、ささくれ等による怪我の防止や屋内運動場の健全性を確保する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	事業完了学校数	校
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見					
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算						
事業費（千円）	25,300	2,579	32,100	—					
財源内訳	一般財源	0	2,579						
	国都支出金	25,300	0						
	その他	0	0						
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	997	635				1,277		
	所要人員（人）	0.13	0.08				0.17		
	会計年度任用職員（千円）	0	0				0		
	所要人員（人）	0.00	0.00				0.00		
合計（事業費+人件費）	26,297	3,214	33,377						

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
第三小学校屋内運動場床塗装改修工事 2,578,400円	床の改修により、屋内運動場の使用制限がかかるため、学校運営に支障のないよう、夏期休業期間に工事を実施する。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
令和5年度は、第八小学校屋内運動場床改修工事を行う。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>						今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
		今後の方針																						
		コスト																						
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	屋内運動場屋根及び外装改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
	目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	老朽化した屋内運動場の屋根、外壁及び窓枠を改修することにより、屋内運動場の健全性を確保及び教育環境を改善する。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	事業完了学校数	校	目標	—	1	2
				実績	—	1	
達成率				—	100%		
2	—	—	目標	—	—		
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		1,872	53,538	215,651	
財源内訳	一般財源	1	53,538	30,251	
	国都支出金	1,871	0	95,000	
	その他	0	0	90,400	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	831	3,019	3,200	
	所要人員(人)	0.10	0.40	0.42	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		2,703	56,557	218,851	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●第八小学校屋内運動場屋根及び外装改修工事に伴う実施設計委託 2,860,000円</li> <li>●第三小学校屋内運動場屋根及び外装改修工事 50,673,700円</li> </ul>	窓枠等建具改修により、屋内運動場の使用制限がかかるため、学校運営に支障のないよう、夏期休業期間に工事を実施する。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和5年度は以下の改修を行う。																								
●第二小学校屋内運動場外装改修工事																								
●大南学園第七小学校屋内運動場屋根及び外装改修工事																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持			○		低下				
				今後の方針																				
		コスト																						
成果	向上	削減	維持	増加																				
	維持			○																				
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	自家用電気工作物更新事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 454
	根拠法令等	—			
目的	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	老朽化した自家用電気工作物の本体及び付帯設備の改修を行うことにより、電気における事故を未然に防止する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	事業完了学校数	校
			実績	—	0	
			達成率	—	0%	
2	—	—	目標	—	—	
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算			市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）				0			6,100			54,058			
財源内訳	一般財源			-			6,100			16,487			
	国都支出金			-			0			0			
	その他			-			0			37,571			
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）			0			1,911			4,000			
	所要人員（人）			0.00			0.25			0.52			
	会計年度任用職員（千円）			0			0			0			
	所要人員（人）			0.00			0.00			0.00			
合計（事業費+人件費）				0			8,011			58,058			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
第一小学校自家用電気工作物更新工事 6,100,000円（前払金） ※令和4年度中に工事が完了しなかったため、令和5年度に繰越しとなり、前払金のみ支払った。	停電期間が数日に及ぶため、支障のないよう学校が完全休校している日程での工事となる。また、学童クラブ等の同敷地内の建物も停電となるため、他課との調整が必要となる。

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
令和5年度は、以下の更新工事及び実施設計を行う。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●第一小学校自家用電気工作物更新工事</li> <li>●第九小学校自家用電気工作物更新工事</li> <li>●大南学園第七小学校自家用電気工作物更新工事に伴う実施設計委託</li> <li>●第五中学校自家用電気工作物更新工事に伴う実施設計委託</li> </ul>			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）



武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	児童・生徒等安全対策事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育部	教育総務課	教育政策係 内線 423
	根拠法令等	東京都帰宅困難者対策条例、東京都地域防災計画、東京都教育委員会学校危機管理マニュアル、武蔵村山市地域防災計画		
	目的	大規模災害発生時に備え、あらかじめ食料及び飲料水の備蓄を行うことにより、児童・生徒等の各小・中学校内における身の安全・安心の確保に寄与する。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	大規模災害発生時、被災が想定される児童・生徒等に対して食料及び飲料水を支給するため災害対策用物資として備蓄を行う。また、使用せずに消費期限の到来する災害対策用備蓄物資については、防災啓発等の観点から各学校において効果的に活用し、又はフードバンクへの寄付を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	災害対策用食料（アルファ米）備蓄数	箱（50食入り）
			実績	463	538	
			達成率	100%	100%	
2	災害対策用飲料水（5年保存水）備蓄数	箱（206本入り）	目標	1,617	1,593	1,227
			実績	1,617	1,593	
			達成率	100%	100%	


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費（千円）	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	-		
財源内訳						
一般財源	3,112	3,439	326			
国都支出金	0	0	0			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	479	459	462			
所要人員（人）	0.06	0.06	0.06			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	3,591	3,898	788			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効果性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
効率性	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
平成27年度から平成30年度までにかけて購入した災害対策用備蓄物資について、令和2年度から順次消費期限を迎えることから同物資の買い替えを行っている。令和4年度においては、アルファ米152箱（1箱50食入り）及び飲料水409箱（1箱206本入り）を購入するとともに、平成29年度に購入し未使用のまま消費期限が迫ったアルファ米44箱をフードバンクへ提供した。	これまでは備蓄用飲料水として5年保存水を購入していたが、経費や実用性の面から、従来と同様の安全性が保証された、より長期間の保存が可能な飲料水（10年保存水）を導入する等の工夫が必要である。

今後の方針																									
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																									
本事業は、大規模災害発生時に被災が想定される児童・生徒等に対して学校施設内における安全確保や迅速かつ円滑な救援ができるよう、今後も継続する必要がある。																									
また、順次消費期限が到来する災害対策用備蓄物資の更新を効率的に行うことにより、各小・中学校に在籍する児童・生徒等が必要とする食糧数を常に備蓄しておくことにより、費用に見合う効果が得られていると考える。																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		今後の方針			成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
今後の方針																									
成果	コスト																								
	削減	維持	増加																						
向上																									
維持		○																							
低下																									
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																									

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	社会科副読本作成事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育 部	教育指導 課	指導 係 内線 434
	根拠法令等	—		
目的	小学校第3学年から学習する社会科において児童が手にする教科書は全国的な視点で作成をされており、身近な地域社会について学習するため副読本を作成するもの。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	市立小学校の第3・4学年で使用する社会科副読本「わたしたちの武蔵村山市」の作成、印刷及び製本を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				1	社会科副読本の作成	—	目標
				実績	検討	実施	
				達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
				実績	—	—	
				達成率	—	—	


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		0	2,552	0		学校からデジタル化を望む声がある。
財源内訳	一般財源	-	2,552	-		
	国都支出金	-	0	-		
	その他	-	0	-		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	240	230	0		
	所要人員（人）	0.03	0.03	0.00		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		240	2,782	0		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●副読本及び地図2,000部の印刷</li> <li>●タブレット版の展開</li> <li>●DVDの作成</li> </ul> 委託料（作成等委託料） 2,552,000円	副読本等を更に活用してもらえるよう効果的な教材の作成に努める。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
本事業は、社会科副読本「わたしたちの武蔵村山市」を作成し、児童がそれを利用してより身近な地域社会について学びを深めていく機会を創出するものであり、必要性は高いため今後も継続していく必要があると考える。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	電子図書導入事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 2 生涯学習		
	所管部署	教育 部	図書館	564-1284
	根拠法令等	—		
	目的	市民の文化的教養の高揚を図るため、電子書籍の充実を図る。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	パソコン、スマートフォン、タブレット端末等でインターネットを通じて利用できる「むさしむらやま電子図書館」（令和4年10月開設）の電子書籍タイトル数の充実を図る。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	電子書籍タイトル数	タイトル	目標	—	—	—
				実績	—	11,026	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	10,539	2,783	
財源内訳	一般財源	-	539	2,783	
	国都支出金	-	10,000	0	
	その他	-	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	7,642	7,692	
	所要人員（人）	0.00	1.00	1.00	
	会計年度任用職員（千円）	0	1,432	1,425	
	所要人員（人）	0.00	1.00	1.00	
合計（事業費+人件費）		0	19,613	11,900	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年10月に「むさしむらやま電子図書館」を開設し、当初、約1万1千タイトルを用意した。	市民の要望に応えるため、今後、各年度における電子書籍タイトル数の充実が求められる。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
パソコン、スマートフォン、タブレット端末等でインターネットを通じて電子書籍の貸出・閲覧・返却・予約などができるサービスとして、令和4年10月に「むさしむらやま電子図書館」を開設し、当初、約1万1千タイトルを用意した。令和5年度については、電子書籍の充実を図るため、新たに約280タイトル分の予算を計上し充実を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上			○	維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）																						

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	大南地区学習等供用施設空調設備等改修事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 2 生涯学習			
	所管部署	教育 部	文化振興 課	生涯学習 係	内線 652
	根拠法令等	武蔵村山市立学習等供用施設設置条例			
	目的	大南地区学習等供用施設における利用者の安全確保と利便性向上のため、適切な施設管理を行う。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	大南地区学習等供用施設における老朽化した空調設備等及びエレベーターの改修工事を行う。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	工事の実施	—	目標	—	実施	—
				実績	—	実施	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		4,104	188,650	0	
財源内訳	一般財源	0	12,484	-	
	国都支出金	4,104	176,166	-	
	その他	0	0	-	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,037	2,293	0	
所要人員(人)		0.13	0.30	0.00	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
		0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		5,141	190,943	0	

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か <input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある 市民のニーズに適合しているか <input checked="" type="checkbox"/> 適合している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 市民との協働により事業を実施しているか <input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響 <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当 受益者負担は適切か <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 施策への貢献度は適切か <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	民間委託等は可能か <input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 事業費の更なる削減は可能か <input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 類似事業等との統合は可能か <input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
大南地区学習等供用施設の空調設備を撤去、新設し、照明器具のLED化の改修工事を併せて行った。	エレベーター改修工事については、施工事業者において受注過多のため、令和5年度は実施できない状況であることから、令和6年度以降を予定している。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
空調設備改修工事及び照明器具のLED化については令和4年度に完了したが、エレベーター改修工事については令和6年度以降を予定している。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(仮称)生涯学習センター整備事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 2 生涯学習			
	所管部署	教育 部	文化振興 課	生涯学習 係	内線 652
	根拠法令等	武蔵村山市第五次長期総合計画、武蔵村山市公共施設等総合管理計画			
	目的	生涯学習の推進、市民の利便性向上のため、中央図書館及び中央公民館の機能を併せ持つ複合施設として、(仮称)生涯学習センターを整備する。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	(仮称)生涯学習センターの設置場所及び機能について検討する。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	(仮称)生涯学習センター整備に関する検討	—	目標	検討	検討	報告書提出
				実績	検討	検討	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		0	0	0
財源内訳	一般財源	-	-	-
	国都支出金	-	-	-
	その他	-	-	-
会計年度任用職員以外の職員(千円)		240	230	231
人件費	所要人員(人)	0.03	0.03	0.03
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		240	230	231

市民・議会等から寄せられた意見	
—	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	効果性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
武蔵村山市公共施設等整備・再編推進作業部会第二分科会を2回開催し、現在の公共施設の状況や基本とする機能等について検討した。	整備場所、施設機能、施設規模を検討するとともに、一方でコスト面を踏まえ、廃止する施設等も検討する。

今後の方針																							
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
成果	公民館、図書館、市民会館などこれらの生涯学習施設の機能分担等の在り方に配慮し、中央図書館及び中央公民館の機能を併せ持つ(仮称)生涯学習センターの設置について、引き続き、整備公共施設等整備・再編推進作業部会第二分科会において検討し、結果を報告書としてまとめる。																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針			コスト				削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
	今後の方針																						
コスト																							
	削減	維持	増加																				
向上																							
維持		○																					
低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																							



武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	総合型地域スポーツクラブ支援事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 3 スポーツ・レクリエーション		
	所管部署	教育部	スポーツ振興課	スポーツ振興係 内線 654
	根拠法令等	武蔵村山市総合型地域スポーツクラブ設立・運営補助金交付要綱		
	目的	地域の総合型地域スポーツクラブの設立及びクラブ設立後のクラブ運営に係る活動に対し、補助金を交付することにより、クラブ設立の促進及びその運営の安定を図り、市におけるスポーツの振興及び地域社会の活性化に寄与する。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	交付対象となる団体が行う活動に対し、設立・運営補助金を交付する。			
対象（交付先）	武蔵村山市総合型地域スポーツクラブ「よってかっしょクラブ」ほか設立を予定する団体			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	総合型地域スポーツクラブ数	団体
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	クラブ会員数	人	目標	360	360	360
			実績	122	171	
			達成率	34%	48%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	570	600	600		-
一般財源	570	600	600		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況
所要人員（人）	0.10	0.10	0.10		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	1,368	1,365	1,370		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
総額（千円）	2,311	2,990	2,982		交付金額（千円） 600
市補助金	570	600	600		会場費 126
会費	188	258	290		事業運営費 378
繰越金	37	21	71		備品購入費 96
事業収入	1,298	2,055	1,971		
その他	218	56	50		
支出	総額（千円）				割合（%）
交際費、飲食費	0	0	0		団体収入に占める補助金の割合 20%
人件費	932	1265	1376		団体収入に占める繰越金の割合 1%
事業経費	1358	1554	1494		交付金額に対する繰越金の割合 4%
その他	21	171	112		

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効果率	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	性	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない	
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
総合型地域スポーツクラブ数 1団体 クラブ会員数 171人	クラブの安定的な運営のために、クラブの存在をアピールする広告宣伝に注力する必要があることから、市の継続的な財政支援が必要となる。


今後の方針				
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
	総合型地域スポーツクラブは、地域のスポーツ、文化、社会的な活動により、地域コミュニティの場として一定の役割を担っており、今後その役割は更に大きくなっていくものと考えられる。			
	市内では、平成25年2月に設立された「よってかっしょクラブ」が活動を行っている。当該クラブが各種イベントや人材育成、会員の確保等を継続的に実施していくためには、今後も継続的に本補助金の交付を行っていく必要があると考える。ただし、クラブは早期に自立する必要もあり、自立を促すべく助言を併せて行っていく。			
	今後の方針	コスト		
	削減	維持	増加	
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

外部評価調書（補助金等）

事務事業名		総合型地域スポーツクラブ支援事業	
所管部署		教育部 スポーツ振興課 スポーツ振興係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・一般市民にも間接的な受益があるか</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・補助基準は明確か</li> <li>・補助金の交付により期待された効果が得られたか</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助内容や補助額の見直しは可能か</li> <li>・補助期間を設定しているか</li> <li>・類似の補助金との統合は可能か</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
総合評価	<p>本事業は、地域コミュニティを基本とした誰もが自由に参加できる総合型地域スポーツクラブの育成を目的として、その設立や運営に係る費用を補助するものであり、一定の必要性が認められる。</p> <p>他方、本事業の趣旨を踏まえれば、現状ではクラブの設立が1団体となっていることや会員数が減少していることから、公平性及び有効性に疑問が残る。</p> <p>よって、新たなクラブの設立に向けて団体の育成に注力するとともに、会員数の増加を図るため、総合型クラブとしての魅力を明確にした上で、その特徴をいかした活動の充実等に向けた助言や支援を行うことを求めたい。</p> <p>なお、本事業は、コミュニティ支援の側面もあることから、他のコミュニティ支援との連携を視野に入れ、その観点から財政支援を行うことを検討することが望ましい。</p>		

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	スポーツ少年団支援事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 3 スポーツ・レクリエーション		
	所管部署	教育部	スポーツ振興課	スポーツ振興係 内線 654
	根拠法令等	武蔵村山市スポーツ少年団運営支援補助金交付要綱		
	目的	スポーツ少年団の運営の安定を図り、市におけるスポーツ振興及び青少年の心身の健全な育成に寄与する。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	スポーツ少年団の安定的な運営のため、団体が行う活動に要する経費の一部を補助する。			
対象（交付先）	武蔵村山市スポーツ少年団			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	武蔵村山市スポーツ少年団単位団数		団体	目標	6	6
				実績	2	4	
				達成率	33%	67%	
2	-		-	目標	-	-	-
				実績	-	-	
				達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	183	198	650		-
一般財源	183	198	650		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況
所要人員（人）	0.10	0.10	0.10		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	981	963	1,420		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
総額（千円）	221	224	675		交付金額（千円） 198
市補助金	183	198	650		役務費 2
会費	0	0	0		負担金及び交付金 196
繰越金	0	0	0		
事業収入	0	0	0		
その他	38	26	25		
支出	総額（千円）				割合（%）
交際費、飲食費	0	0	0		団体収入に占める補助金の割合 88%
人件費	0	0	0		団体収入に占める繰越金の割合 0%
事業経費	202	224	675		交付金額に対する繰越金の割合 0%
その他	19	0	0		

視点別の分析	公		益	
	性	性	性	性
市の関与は必要か	<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある		
市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/> 受益がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当	
補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない		
類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
スポーツ少年団単位団数 4団体（ミニバスケットボール2団体、合気道、バレーボール）	市内には青少年を対象として活動するスポーツ団体は多数存在するが、その多くがスポーツ少年団に加入して活動する意思はなく、市民のニーズを捉えた補助金であるとは言い難い。また、既存のスポーツ少年団本部、各単位団とも、事務処理に関する体制が整っておらず、主体的な運営がなされていないことから、市が介入しサポートせざるを得ない状況が続いているため、所管部署の負担が年々増加している。

今後の方針


【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

本事業は、令和4年度の行政評価委員会による外部評価において、今後の方向性は縮小・見直しとされ、存廃を含めた見直しの検討が必要であるとの評価結果が示されている。このことから、現在本補助金を活用して活動している団体への存廃等による影響を十分に精査した上で、今後の方針を早急に検討していく必要がある。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持			
	低下	○		

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	野山北公園プール改修事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 3 スポーツ・レクリエーション		
	所管部署	教育 部	スポーツ振興 課	スポーツ振興 係 内線 654
	根拠法令等	武蔵村山市体育施設設置条例		
	目的	野山北公園プールについては、施設全体の老朽化が著しく、令和元年度における管理棟屋根及び内部天井張替え工事に続き、更衣室棟の屋根の改修工事を行う。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 	
内容	野山北公園プール改修工事			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				1	事業の実施	—	目標
				実績	—	検討	
				達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
				実績	—	—	
				達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		0	0	0
財源内訳	一般財源	-	-	-
	国都支出金	-	-	-
	その他	-	-	-
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		0	0	0

**市民・議会等から寄せられた意見**  
市議会一般質問において、当該施設の早期改修についての意見が寄せられている。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
実施計画には「検討」と位置付けられているため、事業の実績なし。	施設の老朽化が著しく、建物部分だけでなく全ての設備の再整備が必要となるため、存廃も含めた市民プールの在り方について全庁的な検討が必要となる。


今後の方針				
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
	野山北公園プールは、設置後40年以上が経過しており、施設全体の老朽化が著しい状況にある。適切な維持管理を行っているものの、既存の施設での存続は困難であることから、存続する場合は、管理棟等の建物のほか、プール本体、ろ過装置等全ての設備について再整備が必要となると考えられる。			
	また、周辺のかたくりの湯についても在り方の検討が進められており、エリア全体の再整備の可能性があるため、今後の市民プールの在り方については全庁的な検討が必要となる。			
	なお、検討の結果を待たず、令和5年度に同年度の開設に必要なプール本体の防水改修工事を実施した。			

今後の方針				
成果	コスト			
	削減	維持	増加	
	向上			
	維持		○	
低下				

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

所管課の評価

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	総合体育館（第一体育室上部以外）屋上防水改修事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 3 スポーツ・レクリエーション		
	所管部署	教育 部	スポーツ振興 課	スポーツ振興 係 内線 654
	根拠法令等	武蔵村山市体育施設設置条例		
	目的	総合体育館の屋上については、平成15年1月の開設以来、防水対策等を行っていないため、防水改修工事を行うもの。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	総合体育館屋上防水改修工事			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	総合体育館（第一体育室上部以外）屋上防水改修工事	件
			実績	—	1	
			達成率	—	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		0	7,898	0
財源内訳	一般財源	-	898	-
	国都支出金	-	0	-
	その他	-	7,000	-
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	765	0
	所要人員（人）	0.00	0.10	0.00
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		0	8,663	0

**市民・議会等から寄せられた意見**

総合体育館の利用団体の多くが加盟する一般社団法人武蔵村山市体育協会から、施設の不具合箇所の改善に関する要望が寄せられている。

本工事の施工により、施設利用者からは「雨漏り等の理由によりイベント等が予定どおり行えなくなることを危惧していたが、工事で不安が解消された。」との声が聞かれた。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
総合体育館屋上防水改修工事を実施した。	総合体育館については、当該箇所のほかにも老朽化している箇所が多数存在するため、順次改修、修繕を行う必要がある。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
総合体育館は、平成15年1月の開設からおよそ20年が経過し、屋上の塗膜防水に複数の劣化部分が確認されており、雨漏り等が生じた場合、イベント開催の中止等が懸念されることから、施設の安定的な利用のため令和4年度に工事を実施した。本事業は終了となるが、当該箇所のほかにも老朽化している箇所が多数存在するため、今後も施設を点検しながら順次改修、修繕を行う必要がある。																						
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上	削減	維持	増加																		
	維持																					
	低下																					
（廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要）																						